

九州

九州支社

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前
3-9-1 大賀博多駅前ビル
電話 092-471-6118
FAX 092-471-6119

kyushu
@kensetsunews.com

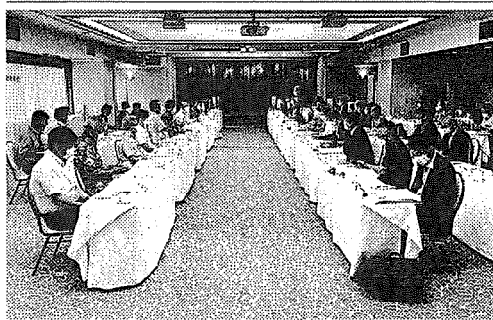
若手表彰で前向き回答 担い手確保・育成など議論

建コン協と沖縄総合事務局が意見交換

建設コンサルタント協会（野崎秀則会長）は22日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで沖縄総合事務局との意見交換会を開いた。議題とした担い手確保・育成では、ウイークリースタンスの拡大や、若手技術者の表彰制度の導入への要望について前向きに検討するとの回答を引き出した。協会からは野崎会長や田中清九州支部長ら本支部幹部、事務局は畠中秀人次長、坂井功開発建設部長ら幹部が出席した。

冒頭、あいさつした野崎会長は「コロナが落ち着いて観光客が戻りつつある中、受け入れ体制が改めて課題となる。交通ネットワークの整備などについて適切な提案をしたい」。畠中次長は「沖縄はこ

意見交換は▽担い手確保・育成のための環境整備▽技術力による選定▽品質の確保・向上▽DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の環境整備と、成長と分配の好循環の実現——の4項目について、協会が提案・要望する形で進めた。



は、全業務に占める第4四半期の納期の割合が目標の35%以下に対し、21年度が65%と未達に終わり、プロポーザルと総合評価方式の発注時期も下期に集中している実態が示された。「目標達成に向けて本気で取り組む」（畠中次長）

とし、達成に向けて国債・翌償の活用、前倒し発注などによる納期の分散化などに引き続き取り組む方針を示した。ワークライフバランスでは、ウイークリースタンスについて、事務局は天候に左右されない業務を中心に試行している。全業務を対象にするよう求める協会に対し、「23年度以降に拡大に向けて検討する」と回答した。

人材育成を主眼とした若手技術者の表彰制度では、事務局は「導入に向けて前向きに検討する」と回答。一方で、事務局が全国に先駆け取り組んでいる熟練の管理補助技術者を評価する若手技術者活用業務の積極的な活用を呼び掛けた。

技術力による選定では、22年度から試行している「国土交通省登録資格」の組み合わせ

せ加点が議題となった。事務局は4業務を対象に発注しており、このうち1業務が組み合わせの加点対象となった。ただ、技術士とRCCM（シビルコンサルティングマネジャー）が同じ分野の「鋼コンクリート」の組み合わせだったことから、協会が「より効果を発揮するためいろいろな組み合わせで試行してほしい」と注文した。

DXの推進では、情報共有システム（ASP）の活用について、事務局は8月に試行開始し、22年度は37業務で試行予定と報告した。BIM/CIMでは協会が高額なCADライセンス単価を問題視し、「中小企業では営業利益が全てなくなる規模」（田中支部長）と訴え、BIM/CIM使用料の計上などの環境整備を求めた。